**旭丘スイミングQA通信　№12**

**子どもの進級速度が遅いように感じますが、皆さんの進級速度はどうなんでしょうか？**

**進級速度ですが、これは水泳に限らず個々の向き不向きによりスピードは若干異なります。コーチは受け持ちクラスの子どもたち全ての泳力把握を怠らず、子ども達の上達の差を最小限にとどめる為に常日頃から声かけや補助の回数(重点的な個別補助)等に差別化を図り、認定テスト時には全員の合格を願いカリキュラムの組み立てを行っています。**

**おっしゃる通り個々の進級に差が出るのも確かです。**

**これは、認定級によっても変わります。**

**例えば、幼児級では主に浸顔系(お顔浸けや呼吸止・水中呼気水上吸気)、姿勢系(伏し浮きや背面浮き)、キックの基本系(壁持ちキックやグライドキック)がありますが、この段階では級の細分化により2ヵ月に1回(全出席で8回の練習)で1階級ないし2階級の進級が望めます。**

**しかし、初心ではキックの距離が増える事や、また、泳法に入る事により少しずつ難しくなり1回での昇級は多少難しくなってきます。**

**特にクロール習得では呼吸動作やストロークのタイミング等々、課題も多くなるからです。また、その後の進級基準は1階級、1泳法と細分化された認定基準ではなくなるからです。**

**同じ練習をしていても子どもたちの上達速度は異なりますが、子どもたちのがんばりをそっと見守ってやって頂ければ幸いです。**